

ずし体指だより

-- 第2号 --

平成18年3月9日発行

全国体指研究会

第四六回全国体指研究協議会が平成一七年十月十三、十四の両日、秋田市内において開催されました。

第一日目は県立武道館の会場で、表彰式、文部科学省スポーツ課からの「スポーツ行政の課題と展望についての説明」につづいて、秋田県立能代工業高等学校バスケット部、前監督の加藤廣志氏に依る「リーダーは燃えるような情熱を持って」と題する特別講演が行われました。

監督就任当時には全く無名であった同校のバスケット部を、文字通り燃えるような情熱を持って指導され、長期に亘る全国制覇の偉業を成し遂げ、またあの田臥選手や現在国内で活躍している多くの有名プレイヤーやコーチを育て上げた指導者として永く豊かな経験から体得されたお話しがありました。

指導者の一人として新たな認識を得る事が出来ました。

二日目は四テーマを設けて分科会が行なわれました。逗子市は「総合型スポーツクラブを育てよう」を課題とする分科会に参加し、十八年度よりの設立に向けての活動に備えてすでに設立され実際に活動しているクラブの事例発表や各地から参加の委員との情報交換等々短い時間ではありましたが有益な研修を収める事が出来ました。

また、この大会において村木会長が永年に亘る活動が認められ、体育指導員功労者表彰を受けました。

市長・議長を表敬訪問

一七年十月二八日長島市長及び真下市議会議長を訪問し、全国大会において村木会長が授賞した報告を申し上げると共に、体育指導委員の活動の現状や、スポーツ行政の要望等について種々のお話しをさせて頂く機会を得ました。

当日は市長、議長お二人とも公

務ご多忙な時ではありましたが、快く時間を割いて頂き、酒井・平・人見の副会長を混えて懇談をさせて頂きました。

市長、議長ともスポーツの効用について強い関心と認識を示され、一同大変心強い思いを胸にしました。



県体指・横須賀で開催

二月五日(日)神奈川県体育指導委員大会が、横須賀市文化会館において開催されました。

午後から行われた大会の前に、「ウォーキング」が行われ、JR横須賀駅より臨海公園、三笠公園を経由して会場までの街並みを楽しみました。

今大会は横三地区が主管し、逗子市は受付を担当しました。

前半は開会式に続いて、表彰式が行なわれました。表彰状が百十三名、感謝状が二名に授与され、逗子市の相川(恒)・深澤・福本の三氏も永年の

功勞により表彰されました。

アトラクションとしてほとんど女性で構成されている横須賀市消防団音楽隊による吹奏楽を楽しんだ後、基調講演がありました。

現在サッカー横浜FCの代表取締役ゼネラルマネージャーを務める奥寺泰彦氏の講演は、奥寺氏の子供時代からドイツ時代を経て現在に至るまでの実体験に基づいた、とてもわかりやすい話でした。

地域と密着したスポーツ活動が、地域のコミュニケーションにとつていかに大切かを再確認でき、私達の活動にとつて励みになるものでした。講演後半はスポーツキャスターの出光恵さんとのトークショー形式となり、テンポよくテレビ等では見られない奥寺氏の一面をかいま見ることができました。世界で活躍した方が身近に感じられる講演でした。



体指総会

四月九日(金) 逗子アリーナ第一会議室にて開催されました。

会長より平成一六年度事業報告に続いて人見会計より決算報告があり、何れも満場一致で承認されました。

次に平成一七年度事業予定が会長より提案があり審議の結果了承されました。

健康まつり市民運動会

年間の最大行事が健康まつり市民運動会です。

五月二十日(日) 第一運動公園自由広場に、市民多数が参加して開催されました。

この会場は小石が多く、子供達が転倒して怪我をしないように、会場整備に例年のことながら苦労しました。

開会式は国旗掲揚後、会長のあいさつに続いて市長、市議会議長よりご祝詞をいただき、来賓の紹介がありました。

今年も幼児から高齢者まで元気いっぱい爽やかな一日を楽しみました。昼休みのアトラクションは久木地区に古くから伝わる「久野谷組太鼓」が披露されました。年々技量が向上し、この大会に欠かせ

ない存在であります。すっかり定着した市老連婦人部の「みんなで踊ろう」は来場者も踊りの輪に加わり、その数も年々増加しつつあります。



実技研修会

七月三日(日) 逗子アリーナにおいて、午後一時〜五時まで実技研修会を開催しました。

前半は逗子市消防署救急救命士三名による救急蘇生法(心臓マッサージ・人口呼吸法)の指導を受け実習を行いました。

万一の事故に備えて、こゝ三年間同じ訓練を実施しております。傷病者発見から人口呼吸に至るまでに救助者が実施、確認すべき事項は訓練であっても円滑に実施するのは難しく、さらに反復訓練の

必要性を感じました。後半は二ユースポーツ・ドッチ

ビーの研修を行ないました。初めてディスクを手にする委員もあり戸惑いも見うけられました。馴れるにつれ楽しみも増し誰にでもできるスポーツであることを実感しました。

家族交流会

八月二十八日(日)の午後、波静かな逗子海岸で開催しました。

海岸のほぼ中央にある海の家「浪子亭」が会場です。この行事は三〇年前より定期的に実施しております。昨年は台風接近のため中止となりましたが、今年は大ファミリー多数の参加がありました。

腕をふるって調理したバーベキューを堪能し、空くじなしの福引きを楽しみ太陽が西の海に沈む頃に終了しました。

体力テスト会

十月三日(土) 逗子アリーナで開催されました。受付を済ました順に血圧測定を行い、準備体操の後二〇才〜六四才と六五才〜七九才とに分かれ、年齢に応じた種目の測定を行いました。記録用紙に測定結果の記入を受け、最後に自己の記録(コピー)の交付を受けました。

終了後保健師さんによる健康維持管理の話がありました。

逗子市民まつりへの協力

十月二十三日(日) 第一運動公園で開催されました。早朝から市民が続々と会場を訪れ大盛況の秋日でした。

今回の最大の特徴はゴミステーションを設置せず、ゴミは各自で持ち帰りましたことです。

会場での販売で使用した、串、割り箸、汁物のみ所定の容器に

入れることとしました。体指から二十二名が交代で他の協力団体とともに「ゴミ監視員」として、ゴミの不法投棄に対する監視をおこないました。

目に余る違反者もなく大きな成果を挙げました。スポーツ教室では、ターゲットバードゴルフ、ペタンク・ソフトバレー・フライングディスクを開催し、多数の人が体験されました。



オリエンテーリング

好天に恵まれた十一月二十日(日)コースを東逗子地区に選り九時三十分第一運動公園自由広場を第一組が出発、二分間隔で二九組がチエックポイントを目ざしました。山あり谷ありの道程で迷子になるチームもありました。

三浦半島八景の一つである神武寺の晩鐘では登山中の方々から励ましの声をかけられる組もありました。五霊神社の境内では県の指



市内一周駅伝競走大会



昭和29年より毎年開催されている市内一周駅伝競走大会(教育委員会主催)が晴天に恵まれた1月8日(日)に開催されました。

29チーム(地域の部12、団体の部17)が午前九時、池子第一運動公園をスタート、市内全域をまわる6区間27.1キロのコースを沿道の熱い声援を受け、選手たちは力走しました。地域の部では池子Aが大会新記録で7連覇を達成しました。

団体の部では逗子開成Aが6連覇を達成しました。

体指委員もほぼ全員が競技役員として全面的に協力をしました。

参加者の声

秋晴れの空の下、参加チームに続いて運動公園を出発。山道をいくと紅葉の中に見えた神武寺、五霊神社の黄葉した銀杏の大木、道路沿いには菊の花、散歩中の豚に出会い運動公園へ。
体指特製の福汁を食べて目とお腹で秋を感じた日でした。

関東体指研究大会

十七年六月十・十一日の両日、群馬県前橋市及び伊香保町において、関東一都八県から約一八〇〇名の体指が参加して盛大に開催されました。

初日は功労者表彰と基調講演があり、二日目は湯の街伊香保にふさわしく「湯つたり」「湯つくり」「リラックス」をテーマにパネルトークと体ほぐしの体操指導が行なわれました。

本市からは村木会長が参加して、他地区の方々との有益な情報の交換等をして参りました。

県体指研修会

十一月二十七日(日)午後一時から藤沢市秩父宮記念体育館メイシアリーナで開催され、村木、酒井平、人見の四名が参加しました。

開講式に引き続き約十分間、高嶋菅枝さん(寒川町)指導でのストレッツチ体操は中高年者にも適しており快いものでした。

講習会は「バウンドテニス・インディアカ・ペタンク・ユニカール」の四種目を四会場に分かれ、一会場三〇分で交替して一巡するスピーディーな内容でした。

県女性体指研修会

一月十四日(日)神奈川県女性体育指導委員研修会が小田原アリーナで開催され、三名が参加しました。

今回の研修は「はじめての太極拳」でした。

講師はNPO法人神奈川県太極拳連盟理事長の佐藤衛先生でした。他に二名の指導者が親切に解説して下さいました。

テレビでは見たことがありませんが、体験するのは初めてであり、

最初は緊張のため動作もぎこちなかったのですが、馴れてくると動作、呼吸法もゆつくりできるようになり、全身の力が抜けたような心地よさを感じ、太極拳に愛着を感じた次第です。

日本での武術太極拳愛好者は一〇〇万人といわれており、競技スポーツ、生涯スポーツとして今後の大きな発展が期待されています。



逗子市に新しく誕生!!

(仮称)「地域体育会スポーツクラブ」

六月から会員募集開始

逗子市における「総合型地域スポーツクラブ」は体協四団体の一つである地域体育団体協議会(八体育会)の活動を更に発展させて「地域体育会スポーツクラブ」とするものです。

昨年五月に具体化へ向けて、教育委員会と体協で実現への確認がされました。設立準備委員会(実務担当)を立上げ、諸課題に取組み、昨年十二月には関連部門の代表者による設立委員会(審議担当)が実行体制が整いました。

逗子市は少子高齢化が急速に進んでいます(六十五歳以上二十五%)。年輩者の健康づくり、子供の体力向上、成人のスポーツ実施率の向上は今最重要な課題です。「地域体育会スポーツクラブ」は子供さんから年輩の方までが、気軽に新たに楽しむ事ができ、スポーツ人口の拡大と生涯スポーツ復興の役割をはたすものです。

今後の予定は、日本体育協会へ

育成クラブ助成への手続きを行い、本年六月に会員募集、十月に活動を開始する予定です。

現在、体育指導委員はじめ、スポーツ関係者、子供会、市老連への説明を開始しています。

また、市の広報誌での記事掲載も行っています。平成十八年度は「地域体育会スポーツクラブ」活動開始の年となります。

市民へのPR・関係者の理解と協力・魅力的なクラブの活動と現実等々課題は山積しています。一つ一つ乗り越えて行くしかありません。体育指導委員の方々は、各地域の活動の中心であり、クラブ実現へ尚一層力となっていたいただかなければなりません。

皆様の御協力を切にお願いいたします。

(財)逗子市体育協会

「地域体育会スポーツクラブ」

設立準備委員長 北島惇夫

(仮称) 地域体育会スポーツクラブの特長

1. 逗子市内に在住、在勤する小学生以上の方なら誰でも。
2. アリーナ・運動公園・温水プール・8体育会で決まった曜日時間に。
3. いくつかの自分の好きなスポーツが。
4. 指導者のもとに楽しめます。

会員の特典

1. 会員制で年会費制です。「地域体育会スポーツ会員」となり各地域体育会に所属します。
2. 会員証を発行し、日常のすべての活動に無料(一部有料)で参加できます。
3. クラブ及び体協が発行する刊行物を無料配布します。
4. 年会費は一般6,000円前後の予定で、月当り500円程度と安価です。

編集後記

今回の第二号は、創刊号の時と比べ気持の上でも、時間的にも余裕を持って製作に当たることが出来ました。

村木会長が全国体指大会で表彰されたので、トップ記事として取り上げました。また逗子体指の年間活動の数々を紹介させて頂きました。

オリエンテーリングの記事には参加者の声を取り上げました。

これからも皆様の投稿をお願いします。

広報委員会

人見久雄・清田耕一郎・村木定夫
田中完治・湯川里枝・笠原恵子

発行/逗子市体育指導委員協議会
事務所/逗子アリーナ内 tel.870-1296
発行責任者/村木定夫
印刷/(株)アーテック tel.871-5115